

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

市町名
愛荘町

行事名称	豊満神社消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月21日（日）13:00～14:00
実施場所	重要文化財豊満神社四脚門（滋賀県愛知郡愛荘町豊満392番地）
主催者	豊満神社、東近江行政組合愛知消防署、愛荘町教育委員会、愛荘町消防団

■実施内容

訓練の想定

令和6年1月21日13時頃、豊満神社四脚門付近でのたき火が強風にあおられて、付近の立木に延焼。四脚門及び拝殿に延焼危険があると想定。

訓練の内容

豊満神社関係者による火災発見、通報、初期消火（消火器）、重要物品（模擬）の搬出訓練を実施。消防署、消防団による火災防御訓練を実施。

参加者及び役割分担

豊満神社関係者（約5名）：119番通報、初期消火、重要物品の搬出
豊満地区住民（約3名）：初期消火、重要物品の搬出、参拝者の避難誘導
愛荘町消防団（約5名）：放水訓練
東近江行政組合愛知消防署（約10名）：全体統括、放水訓練、講評
愛荘町教育委員会（約2名）：現場立会い

特に工夫した点

豊満神社四脚門及び拝殿への延焼、並びに集落内にある神社のため延焼危険に十分注意し火災防御訓練を実施。

問題点・課題

積雪が多い年については、対象の建物とその周辺、道路などを定期的に除雪し、消火活動が迅速に行うことができる状況を維持していくことが課題。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことにより、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

別添のとおり。



放水状況



放水状況



講評